



きたくらぶ通信

「きたくらぶ通信」とは：「北区LOVE」北区をもっと好きになる「北倶楽部」北区がより楽しいまちとなるための情報誌です。

北区制50周年 特別企画

未来へ届けたい 北区への メッセージ

北区役所 北区長
金本 忠義

神戶のSDGsをリードする北区！

北区長になって約2年。北区はとても豊かなまちだと改めて思います。地域のために汗をかくことを惜しまない、心優しい方もたくさんおられます。さまざまな人が協力して、自然や里山の恩恵を次世代も享受できるように取り組み、神戸のSDGs達成にも貢献する、そんな北区であり続けてほしいと思います。

ほっとするまち 北区

北神区役所 北神担当区長 山本 智康

北区の魅力のひとつで表現するなら「癒し」です。有馬温泉や里山・田園だけでなく住宅地や商業地にもほっとする空間が広がっています。住んでいる区民のみならずの心持ちの表れでしょう。住んでいる人にとっても、働く人や訪れる人にとっても「癒し」を与えてくれる北区であり続けてほしいものです。

豊かな自然を未来へと

学生ボランティア 福原 心寧さん

多くの場所で再開発が進む一方、北区の伝統や特色をもっと発信・継承しながら、不変なもの新たなものが共存する「温故知新のまち」となって欲しいです。私も生まれ育ったこのまちがもっと盛り上がるよう、今後もさまざまなことに関わり、行動していきます。

北区の伝統や魅力を継承・発信するために、さまざまなボランティア活動に挑戦する現役高校生。

神戶の財産、里山を残そう！

北区連合自治協議会 会長 岡田 孝久さん

北区には自然豊かな里山が身近にあることが大きな魅力です。四季折々の自然に触れることができる里山暮らしをぜひ体験して欲しいと思います。子供の頃の自然体験は何事にもかえがたいと思います。北区の自然豊かな土地でのびのびと子育てをしませんか？里山と多彩な自然を活用しながら一緒にぬくもりのあるまちづくりをしましょう。

地域防災力の強化や夏祭り・文化祭をはじめとする地域のコミュニティづくりなど、多方面で安心・安全なまちづくりの主体として活動。

コミュニティバスが
行き交う便利はまら

北神区連合婦人会 会長 高尾 ひろ子さん

自然豊かな北区は、緑に癒やされる公園に加えて、道の駅が2つもあります。北区民としても、これらの魅力を身近に感じていきたいですが、高齢化が進み、運転免許を自主返納する人が増えています。そういった方でも気軽に外出ができるよう、コミュニティバスで近くの駅までいけるようになると嬉しいです。

各種講座の開催やさまざまなフェスタの実施など生涯にわたって学び続けることができる場の提供や、生活者の目線で市民の暮らしの課題解決に尽力。

農村歌舞伎は
北区の自慢

六甲丹生かぶき世話役 藤本 一美さん

進化の速さに疲れ、暮らしが見直される今こそ、農村歌舞伎のような伝統文化の価値が問われているはず。画面越しではない生の声、熱気、笑いなど、多彩な魅力を知ってもらい、北区民であれば、「農村歌舞伎、私もやったことある」と、たくさんの人に言ってもらえるようになっていきたいなあ。

北区の特徴の一つである農村歌舞伎。「[楽しいから]の繰り返し、文化の継承につながる」をめざして活動。

北区の新しい扉を開く

北区は癒しの場所

弓削牧場 代表 弓削 忠生さん
代表取締役 弓削 和子さん

ここには里山や田園が育んできた箱木千年家、農村歌舞伎などの文化や伝統、そして神戸の誇る農と食があります。歴史的に考えても、実は北区は昔から農村文化とモダンな都市文化が交わる場所だったのではと思います。異なるものが出会うことで新しい伝統が生まれ育まれる。温故知新、それこそが北区が持つ可能性なのではないでしょうか。

西日本で個人の酪農家として初めてチーズづくりのスタートを切り、牧場内でレストランを運営して今年で40年目を迎える今、日本初の小型バイオユニットの活用など、牧場の資源を余すことなく循環させる持続可能な酪農をめざす。

豊かな自然で心も豊かに

鈴蘭台エコアップ・プロジェクト 日野 淳郎さん

北区は自然の宝庫。自然を守るだけではなく、人それぞれに合った方法で身近な自然の再生に関わり、人も自然もまちなも、どんどん元気に豊かになる好循環スパイラルが巻き起こることに期待しています。私たちも一助を担えれば幸いです。

天王ダムビオトープを拠点に、鈴蘭台の環境保全、子どもたちの自然体験の機会創出などを実施するボランティア団体を設立運営。

お知らせ 北区制50周年 特別企画 WEB版

未来へ届けたいメッセージ
完全版を公開しています

特設サイトにみなさんのメッセージ全文を掲載しています。右記2次元バーコードからアクセスしていただけます。

一般社団法人 北神みそ 兵庫六甲JA神戸北女性会 中西 和子さん

昔ながらの製法で手づくりする「北神みそ」は、北区の特産品の一つです。次世代を担う子どもたちに豊かな自然に育まれた日本古来の食文化の大切さを知ってもらい、この素晴らしい食文化が息づく場所であり続けてほしいです。

おみそ汁を毎日、食べましょう。

社会福祉法人みのり福祉会 中川 博文さん

コロナ禍の3年前に、園児や保護者、地域のみなさんと一緒に岡場駅近くの畑一面にチューリップの球根を植える「チューリッププロジェクト」をはじめました。子育て家庭や地域、福祉施設、行政が手と手を携えた活動が広がることで、笑顔がいっぱいあふれ、さらに子育てしやすい北区になってほしいです。

自然の息みを感じよう

花卉農家 相良 行博さん

北神区の農村エリアは、恵まれた土と豊かな自然にあふれています。温暖化や世相が激しく変化する環境の中でも、魅力ある農畜産物を次世代につなげていきたい。地域と行政の協力によって今を乗り越え、子どもの声があふれる地域になることを願っています。

笑顔

保育教諭として「こべっこあそびひろば」「つきかけ認定こども園」「有野台児童館」を兼務し、北区で27年勤務。

50 KOBE KITA SINCE 1973

北区の未来を語るつどい

これまでの50年と、これからの50年

北区は、昭和48年(1973年)に兵庫区から分区して、令和5年(2023年)8月1日に区制50周年を迎えました。北区役所・北神区役所では、区民の皆様へ改めて北区への愛着と誇りを感じていただけるよう、昨年3月のオープニングイベントを皮切りに約1年間、北区制50周年記念事業を実施してきました。その記念事業の締めくくりとして「北区の未来を語るつどい」を開催します。当日の参加申し込みも受け付けていますので、ぜひご参加ください。

とき 2024年 2/24(土) 13:00-16:00

ところ 北神区文化センター ありまホール
神戸市北区藤原台中町1-3-1
神戸電鉄「岡場駅」下車、徒歩およそ5分

第1部 記念式典
主催者挨拶、来賓挨拶、地域からの言葉

第2部 トークセッション
テーマ「地域・人・未来」

第3部 小学生から大学生による演奏、演舞など

お申し込み方法
詳細や当日の参加申し込みはコチラから

北区50周年 未来を語るつどい

主催：神戸市北区役所、北神区役所

発行 北神区役所地域協働課
〒651-1302 神戸市北区藤原台中町1-2-1
TEL:078-981-5377(代表) FAX:078-981-3506

北区役所地域協働課
〒651-1195 神戸市北区鈴蘭台北町1-9-1
TEL:078-593-1111(代表) FAX:078-593-1166

KOBE CITY OF DESIGN

きたくらぶ通信はホームページでもご覧いただけます。

残そう“これまで”

地域の文化財である 農村歌舞伎を次世代へ

北区には農村歌舞伎舞台が数多く残っています。農村歌舞伎の始まりは江戸時代といわれ、農閑期の農民たちの娯楽として盛んでしたが、戦後は演じられる機会が減少していきました。

そこで、北区役所は平成12年に農村歌舞伎上演会を復活させ、その後、地域団体が中心となって毎年秋に継続的に開催されています。

農村歌舞伎舞台だけでなく、北区には市内で最も多くの文化財が残っています。令和3年から市独自の「神戸歴史遺産制度」を開始しました。これからも、貴重な文化財を守り、後世に継承していきます。



のどかな景観の象徴「茅葺屋根」



ススキやヨシなどの「茅」を材料として、屋根を葺いた構造の民家を「茅葺民家」と呼びます。里山で手に入る植物を材料にしているため、葺き替え時には土に選り、またその土から新たな茅が育つ、とても有機的な仕組みとなっています。

北区には、約680棟の茅葺民家(金属版で覆ったものを含む)が残っています。文化財として指定されたり、農村歌舞伎が上演されたり、北区の文化や暮らしに近い存在です。茅葺民家のある風景を残していくため、所有者、茅葺職人、地域団体と一緒に、市としても支援を続けていきます。



地域の山を登って守ろう!

六甲山系や丹生山系など、多様で個性的な山に囲まれた神戸。まちと山が近い神戸では、昔から登山が親しまれてきました。そんな神戸の山をもっと楽しく、もっと安全にするための「神戸登山プロジェクト」に取り組んでいます。

プロジェクトでは、登山道整備をはじめ、登山支援拠点「トレイルステーション神戸」の設置や登山客を歓迎する「登山サポート店」といった取組みを進めています。

また、「つくはら湖」のほとりに、登山者やサイクリストが利用できる休憩キャビンを設置予定です。

これからもますます魅力を増していく地域の山へぜひお越しください!



育もう“自然”

生物多様性を 支える里山を残そう



人の手が入ることで昔ながらの自然が保たれている環境を「里山」と呼びます。

北区には里山が多く残っており、セトウチサンショウウオ、キキョウといった希少な生物も多く生息しています。

例えば、北区山田町の里山林や棚田、ため池は生物多様性が豊かな場所として環境省の「自然共生サイト」に認定されており、市民や大学、行政などが連携し、生物調査や草刈り、耕作放棄地の再生など里山保全に取り組んでいます。

里山の自然は人の関りがなくなると失われます。神戸の豊かな自然を将来に引継ぐため、今後もさまざまな取組みを展開していきます。



繋げよう“ひと”

もっと地域でつながりませんか?

「ふれあいのまちづくり事業」は、各地域の自治会・婦人会・民生委員児童委員協議会・老人クラブ・子ども会・青少年育成協議会・PTA・ボランティアグループの方々を中心となって自主的に結成した「ふれあいのまちづくり協議会」が実施する事業です。

地域のみなさんをつなぐため、地域福祉センターを中心にふれあいサロン(喫茶)、ふれあい給食、子育てサークルなど、さまざまな活動を行っております。ぜひご参加ください。



地域の魅力を交流しながら発信!

最近、北区の田園地域で古民家を再生したカフェやレストラン、体験農泊施設といった新たなスポットを見かけませんか?

これらの施設では、地元で採れた野菜の販売や料理など、田園地域の特色を活かした取組みを提供しています。また、地域住民同士の交流に加えて、人口減少が進む田園地域への来訪者を増やす魅力発信拠点としても活躍しています。

今後さらに、新たな移住者の呼び込みも含め、地域内外の人を結びつける取組みを進めています。



次の50年に向けて北区の未来は
これからどうなっていくのか?
5つのテーマでのぞいてみよう。

特別編集 北区の未来を 見てみよう!

創ろう“これから”



変わりゆく北区の玄関口「鈴蘭台」

「北区の玄関口」として発展してきた鈴蘭台。2018年の駅前再開発(駅ビルの完成)以降も、変化が続いています。

特に、2025年度に完成予定(旧北区役所跡地)の「新北区文化センター」は、北区民・市民の文化活動・地域活動・体育活動等の新しい拠点として、広く利用され、親しまれる施設を目指しています。また、駅北地区では区画整理事業がすすめられ、近い将来大きく風景が変わっていきます。

昔ながらの良さを残しながらも、よりみなさんが住みよいまちとなるよう変わりゆく鈴蘭台の街並みを今後も是非ご注目ください。

人が集い、 笑顔あふれる「駅前」に

神戸市と神戸電鉄が共同で、神鉄沿線の魅力を高める取組みを進めています。2023年度に駅舎・駅前のリニューアルが完了した花山駅前、大池駅前では、地域の方々を中心にイベント等が開催され、新たなにぎわいが生まれています。また、唐櫃台駅では、2023年度から駅舎と駅前の再整備の検討を開始しています。

今後、2024年度に有馬温泉駅、2025年度に有馬口駅をリニューアル予定です。

これからも人が集い、にぎわいと笑顔があふれる場所づくりに取り組んでいきます。



岡場駅前広場が 多世代の憩いの場に

北神地域の拠点駅にふさわしい魅力的な駅前広場となるよう岡場駅の再整備を進行中。昨年11月よりバスロータリーの改修工事に着手しました。

今後、周辺施設へのバリアフリー動線を改善するとともに、北神地域らしい“新しい里山”をコンセプトとした広場空間を創出します。新しく生まれる広場での過ごし方や使い方、デザインについてワークショップでまとめた意見を踏まえ設計を進めています。



北区の風土が育む農産物をより身近に

北区には地域特性を生かした多彩な農産物があります。昼夜の温度差が大きい谷あいでは、粘質土壌の特性を生かして良質な米が栽培されており、酒米である「山田錦」の生産も盛んです。淡河町では、長年の品種改良によって誕生した白ユリ「神戸リリィ」や、「神戸チューリップ」などの花が栽培されています。

都市と農村が近い立地ならではの観光農園もたくさんあります。有野町、大沢町、長尾町、淡河町、八多町では、「二郎いちご」をはじめとした完熟のいちご狩りが楽しめます。今後も北区の特徴ある農産物を守り育てるとともに、より多くの人に魅力を知っていただくために発信を続けていきます。

空き家再生でまちおこし

農村地域への移住や起業を行いたい人に向けて、空き家を売りたい人・貸したい人と移住・起業者をつなぐ、「神戸里山暮らし空き家バンク」を設置しております。地域住民自らがまちの活性化のために「空き家おこし協力隊」として活動。地域の空き家を掘り起こしながら、空き家所有者に寄り添い、所有者が抱えるさまざまな課題の解決のためにサポートします!

お試し移住もできるので、豊かな自然や農地に囲まれながら都市的で便利に生活できる、神戸ならではの“里山暮らし”を体験してみてください!



活かそう“こせい”

有馬温泉がパワーアップ中

有馬温泉は日本三古泉の一つとして人々に愛されてきました。

褐色の名物湯「金泉」とお肌がつるつるになると女性に人気の無色透明な「銀泉」の異なる泉質を持つ湯が楽しめます。

また、軽やかな落水の音が響き渡る鼓ヶ滝公園、紅葉の名所である瑞宝寺公園など、五感を楽しませるスポットも数多くあります。

他にも、有名スポットである御所泉源の隣の広場を観光客により身近に感じていただけるようリニューアルを予定していたり、グリーンスローモビリティの実証実験に取り組んだり有馬温泉の魅力をパワーアップしようとしています。

